

新規開業オフィスビル「新橋 M-SQUARE Bright」におけるトイレの空席状況を一覧表示
～トイレの利用状況把握による、スムーズなトイレ利用の促進～

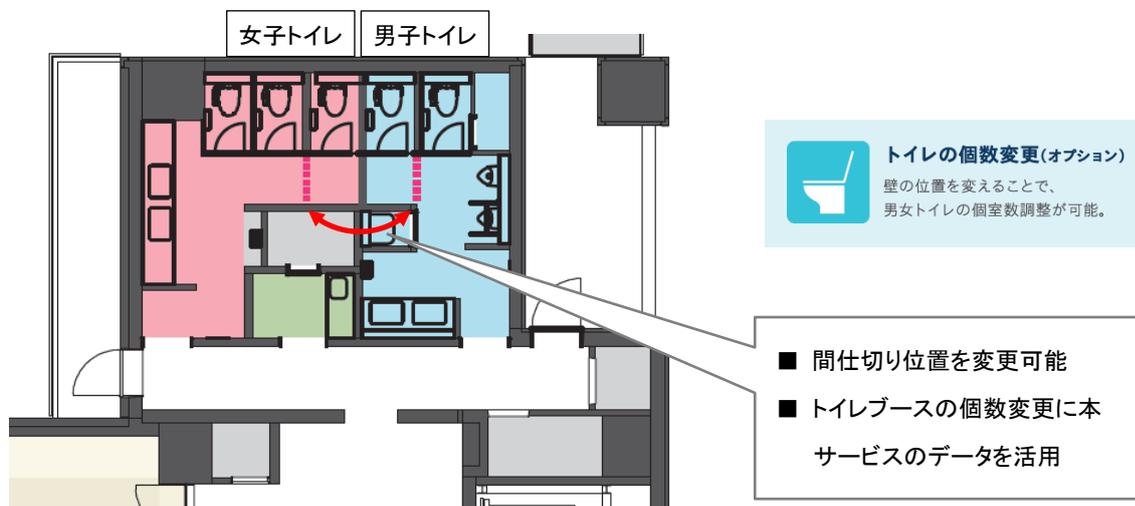
東日本電信電話株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:井上 福造、以下、NTT 東日本)、株式会社バカン(本社:東京都千代田区、代表取締役:河野 剛進、以下、バカン)は、2018年9月28日に竣工したオフィスビル「新橋 M-SQUARE Bright」(プロジェクトマネージャー:三井不動産株式会社[本社:東京都中央区 代表取締役社長:菰田正信]、以下、本物件)において、各フロアの館内Wi-Fi及びIoTを活用してトイレの空席状況をスマートフォンやパソコンへ一覧表示するサービス(以下、本サービス)を2018年10月下旬より提供予定です。

1. 本取り組みの背景

従来、トイレ利用者にとってはトイレの混雑状況は現地に行かなければわからないため、満室だった場合、空室を探す手間や時間が困りごととなっていました。また、ビルオーナーにおいてはトイレの混雑状況を緩和するためにトイレブースの個数変更が求められており、個数変更にあたり必要となる入居者の男女比率や利用状況データを収集することが課題となっていました。

これらに対して、本サービスではIoTの活用によりトイレの空席状況をリアルタイムに把握・配信することで、トイレ利用者は事前に混雑状況を確認することができ、スムーズにトイレを利用できます。加えて、本サービスにより蓄積された利用状況データを分析・活用できる環境も整備することで、ビルオーナーは入居者の利用状況に合わせた適切なトイレブースの個数変更が可能になります。

<本物件におけるトイレブースの個数変更イメージ>



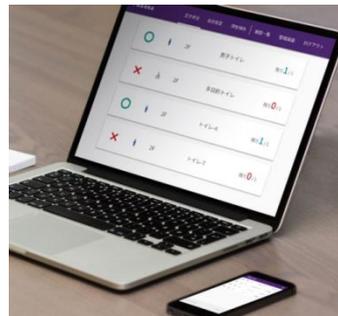
2. 本取り組みの概要

(1) 特長

① IoT の活用によるトイレ空席情報のリアルタイム確認

館内 Wi-Fi とトイレブースに設置したセンサーにより、トイレ利用者がリアルタイムでブースの空き状況をスマートフォン・パソコンで確認できます。

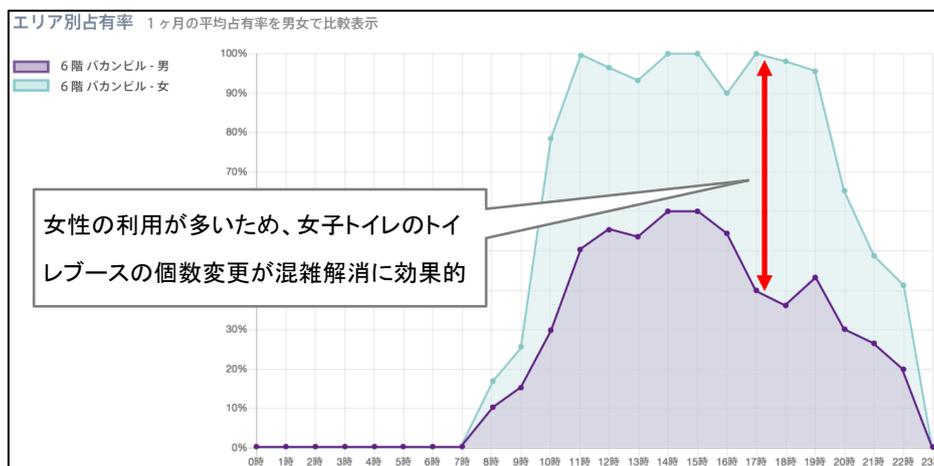
○	10F	南東	空き 2 / 5	通知 ON
○	10F	南西	空き 1 / 5	通知 OFF
×	9F	北東	空き 0 / 5	通知 OFF
×	9F	東	空き 0 / 5	通知 ON



② トイレブースの利用状況データを、適切なトイレブースの個数変更を活用

ビルオーナーは、本サービスにより蓄積されたトイレブースの利用状況データを分析することにより、利用者が効率的に利用できるトイレブースの個数に合わせて、男女トイレの間仕切りを変更することが可能になります。(国内初※¹)

<トイレ別利用状況データイメージ>



※1: 2社調べ(NTT 東日本、バカン)

(2) 対象施設情報

物件名: 新橋 M-SQUARE Bright(地上 11 階 / 地下 1 階)

住所: 東京都港区新橋 1-9-5

(3) 開始時期

2018 年 10 月下旬を予定

3. 各社の役割

<NTT 東日本>

本サービスの IoT 基盤となる「フレッツ光」、「ギガらくWi-Fi」の提供および運用サポートを行います。

<バカン>

IoT を活用し、トイレの混雑状況を検索できる空席情報検索プラットフォーム「THRONE」(スローン)の提供を行います。

<三井不動産株式会社様>

本物件に本サービスを導入するとともに、三井不動産グループである三井不動産ビルマネジメント株式会社の運営管理において、データ分析による効率的な利用提案を実施します。

4. 今後の展望

NTT 東日本、バカンの 2 社は、本物件の入居者・ビルオーナーの声や導入効果をもとに混雑把握技術の向上による新たな利用シーン創出等の協業検討^{※2}をすることで、次世代のオフィスビル開発に貢献していきます。

※2 : バカンは、NTT 東日本が 2017 年 7 月から開催している「アクセラレータープログラム*」に参加し、協業検討を始めており、本サービスが NTT 東日本との初の協業サービスとなります。

* : NTT 東日本の事業と、社会課題の解決やイノベーションをめざすベンチャー企業様のサービスを掛け合わせて双方のビジネスを成長させるプログラムになります。詳細は NTT 東日本ホームページ (<https://www.ntt-east.co.jp/collaboration/>) をご参照ください。